



施設長トーク 介助犬の働き

葦の家後援会をはじめ多くの方のご協力により、平成29年10月8日(日)長尾中学校にて「わはは祭り」を開催させていただきました。およそ1,600名の方が祭りに来てくださいました。そして、今年もボランティアの方々や地域の方々にステージ出演やバザー出店等のご協力を賜り、楽しい祭りになりましたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて今月の話題は、「介助犬」についてです。南米チリには、自閉症児の歯科治療に特化した介助犬を養成・派遣している団体があるという海外ニュースを目にしました。自閉症の子どもたちは、犬を優しくなでながら、穏やかに治療を受けているそうです。こうした犬たちには、子どもの叫び声だけでなく、治療器具の音などに耐え、さらに子どもが耳や毛を引っ張ったとしても、じっと動かずにいる忍耐力が必要となるそうですと紹介されていました。介助犬の助けによって歯科治療がスムーズになるのであれば、自閉症児にとっても、保護者にとっても、歯科医にとっても良いことだと思います。そんな介助犬の訓練施設を、日本では耳にしません。アメリカでは、大きな事件や多数の犠牲者が出た場合などでも、NPO団体がセラピードッグを病院に派遣する場合があります。日本では、盲導犬の普及や救助犬を目にします。自閉症に対する介助犬の普及についても海外事例があることを多くの方に知っていただき、広まっていけばいいのにと願っています。



多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関 正利

なかま CHANNEL

◆ 調理体験

生活介護の仲間たちは、月替わりで違う種類のお菓子作りをしています。設備の面で簡単なお菓子作りしかできませんが、仲間たちは出来上がったお菓子をおいしそうに食べています！9月はホットケーキ、10月はチョコレートパフェづくりでした。(支援員 大坪)



◆ Studio Ashi × えーる油山 冬季授産品販売行なっています。

えーる油山からは秋色のフェスタオル(税込み 1,350 円)を、Studio Ashi からは新商品「マスクングシール(税込み 230 円)、付箋紙 2 種セット(税込み 320 円)」をおすすめしています(*^-*)

お問い合わせ 葦の家 (Tel 092-834-3361 Fax 092-834-3362)

* 支援部だより *

えーる油山では、就労継続支援 B 型事業(7 名)の仲間と生活介護(19 名)の仲間が働いています。私たち支援員は仲間の目標や気を付けるポイントを押さえて支援していますが、支援員が同じ認識を持って支援できるように仲間の目標を掲示することにしました。例えば、T さん「フェルトコースターの凸凹やほつれ、大きさを職員と確認する。自分で確認作業をすることを目指す。」などです。この目標を共有することでどの支援員がフェルト作業に入っても、必ず確認作業をすることになります。基本的なことかもしれませんが、一つひとつ大切に実践していきたいと思います。(支援部 岡村)

◇11 月の予定

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 2 日 ハローデイ春日店バザー | 16 日 ハローデイ周船寺店バザー |
| 5 日 堤文化祭 | 17 日 地震避難訓練 |
| 9 日 ハローデイ姪浜店バザー | 26 日 ふれあい城南フェスティバル |
| 11 日 あったかホームコンサートバザー | 27 日 ボンラパス薬院店バザー |
| 14 日 ハローデイ橋本店バザー | 14、28 日 仲間の健康診断 |

